

Pictet Market Monthly

2014年5月のバイオ医薬品市場

5月のバイオ医薬品関連企業の株価は上昇しました。ユーロ圏の金融緩和期待などを背景に世界株式が上昇する中、バイオ医薬品関連企業の株価は、3月から4月にかけて下落したことの反動などもあり、世界株式を上回る上昇率となりました。

バイオ医薬品関連企業の株価動向

5月のナスダック・バイオテック指数(ドルベース、配当含まず)は月間で上昇しました。バイオ医薬品関連株式は、3月から4月にかけて下落したことの反動から上昇し、上昇率はヘルスケアセクター全体や世界株式を上回りました。個別銘柄では、パフォーマンスに大きな差が生じましたが、米国がん治療学会などの医学会議で治験結果の発表を計画している企業が注目されました。

治験関連および承認関連ニュースでは、インターミュン(米国)が、特発性肺線維症治療薬候補ピルフェニドンについて良好な治験結果を発表しました。PTCセラピューティクス(米国)は、ナンセンス変異を伴うデュシェンヌ型筋ジストロフィー治療薬アタルレンについて欧州医薬品委員会(CHMP)より承認推奨を得ました。エンドサイト(米国)は、卵巣がん治療薬候補ビンタフォリドのフェーズⅢ治験を中止し、欧州での承認申請を取り下げました。ケリックス・バイオファーマシューティカルズ(米国)は、承認プロセスにおいて追加情報を提出したことを受け、高リン血症治療薬候補ゼレネックスの承認審査期間が3か月延長されることを発表しました。

買収関連ニュースでは、シャイアー(アイルランド)がNPSファーマシューティカルズ(米国)を買収するとの観測が広がりました。その他のニュースでは、アイロンウッド・ファーマシューティカルズ(米国)が、過敏性腸症候群治療薬リンゼスについての医薬品広告のキャンペーン後に処方数が伸びたことを公表しました。

今後のバイオ医薬品市場見通し

医薬品価格引下げ圧力の高まりなどのマイナス材料もあるものの、ここ最近の大型医薬品の承認や、有望な新薬のパイプラインの動向から、バイオテクノロジー企業群は引き続き成長が期待できると考えており、今後数年にわたってヘルスケアセクターを上回る売上成長が期待できると見えています。

こうした成長性に加えて、良好な治験結果が示されれば、中長期的にはゲノム関連企業の株価は引き続き上昇基調が期待できると考えます。今年に入ってから株価調整の後、バイオ医薬品関連株式は市場の信頼感が戻るまで方向感のない値動きとなりそうです。足元発表が続いている決算の内容や

治験結果の発表などが今後の株価動向に影響を与える可能性が高く、注視が必要と考えます。

大型株と中型株を中心に、画期的かつニーズが高く将来性が期待される薬品や、既存薬に無い特徴を有した薬品で、開発の最終段階に近づいている企業に注目が集まると考えます。

〈次ページに続きます〉

(※将来の市場環境の変動等により、上記の内容が変更される場合があります。)

図表1: バイオ医薬品株価指数
(ナスダック・バイオテック指数)の推移

| | 2014年5月30日時点 | | | |
|------------------------|--------------|--------|--------|--------|
| | 前月比 | 過去3か月 | 過去1年 | |
| ナスダック・バイオテック指数(ドルベース) | 4.2% | -9.4% | 33.7% | |
| ナスダック・バイオテック指数(円換算ベース) | 3.2% | -9.7% | 34.4% | |
| ダウ工業株30種平均指数(円換算ベース) | -0.1% | 2.1% | 11.1% | |
| 円/ドルレート | -0.9% | -0.3% | 0.5% | |
| (参考) | 当月 | 前月 | 3か月前 | 1年前 |
| 円/ドルレート | 101.66 | 102.61 | 101.94 | 101.18 |
| PSR(実績ベース) | 7.9 | 7.7 | 9.1 | 6.7 |

| | 過去3年 | 過去5年 | 過去10年 |
|------------------------|--------|--------|--------|
| ナスダック・バイオテック指数(ドルベース) | 120.5% | 258.0% | 228.3% |
| ナスダック・バイオテック指数(円換算ベース) | 177.2% | 277.2% | 203.2% |
| ダウ工業株30種平均指数(円換算ベース) | 67.2% | 107.2% | 51.5% |
| 円/ドルレート | 25.7% | 5.4% | -7.6% |
| (参考) | 3年前 | 5年前 | 10年前 |
| 円/ドルレート | 80.88 | 96.48 | 110.08 |
| PSR(倍、実績ベース) | 5.2 | 4.3 | 8.9 |

※為替レートは対顧客電信売買相場の仲値

※PSR: 株価売上高倍率。2014年3月末時点のナスダック・バイオテック指数構成銘柄を基に算出

出所: トムソン・ロイター・データストリーム社のデータを使用しピクテ投信投資顧問株式会社作成

記載されている個別の銘柄・企業については、あくまでも参考情報であり、その銘柄・企業の売買を推奨するものではありません。また、記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

図表2: ナスダック・バイオテック指数
(米ドルベース、月次、期間: 2004年5月~2014年5月)



出所: トムソン・ロイター・データストリームのデータを使用しピクテ投信投資顧問株式会社作成

図表3: 今後のバイオ関連学会予定

| 開催期間 | 学会名 |
|--------------------|--------------------------|
| 2014年6月11日~6月14日 | 欧州リウマチ学会議 (EULAR) |
| 2014年6月12日~6月15日 | 欧州血液学会議 (EHA) |
| 2014年6月13日~6月16日 | 欧州高血圧学会議 (ESH) |
| 2013年6月13日~6月17日 | 米国糖尿病学会議 (ADA) |
| 2014年6月21日~6月24日 | 国内内分泌学会議 (ENDO) |
| 2014年9月4日~9月7日 | 国際血液学会議 (ISH) |
| 2014年9月6日~9月9日 | インターサイエンス学会議 (ICAAC) |
| 2014年9月12日~9月15日 | 米国骨代謝学会議 (ASBMR) |
| 2014年10月12日~10月14日 | 米国神経学会議 (ANA) |
| 2014年11月6日~11月10日 | 米国アレルギー・喘息・免疫学会議 (ACAAI) |
| 2014年11月14日~11月19日 | 米国リウマチ学会議 (ACR) |
| 2014年11月15日~11月19日 | 米国心臓病学会議 (AHA) |
| 2014年12月6日~12月9日 | 米国血液学会議 (ASH) |

※バイオ関連学会予定に掲載の学会の開催期間は変更、延期、中止されることがあります。

出所: 各種資料を使用しピクテ投信投資顧問株式会社作成

図表4: 今後製造承認・販売が期待される
バイオ新薬(ピーク時予想売上高2.5億ドル以上)

| 薬品名 会社名 | 治療対象病名 承認・販売目標 |
|--------------------------|--------------------|
| Vimizim | モルキオ症候群A型 |
| バイオマリン・ファーマシューティカルズ | 2014年2月承認・販売 |
| イブルチニブ | 慢性リンパ性白血病 |
| ファーマサイクリクス | 2014年2月承認・販売 |
| タシメルテオン | 全盲患者睡眠障害 |
| バンダ・ファーマシューティカルズ | 2014年2月承認・販売 |
| ドロキシドパ | 症候性神経因性起立性低血圧症 |
| チェルシー・セラピューティクス | 2014年2月承認・販売 |
| アプレミラスト | 乾癬性関節炎 |
| セルジーン | 2014年3月承認・販売 |
| Alprolix | 血友病B |
| バイオジェン・アイデック | 2014年3月承認・販売 |
| ダルバパンシン | 皮膚感染症 |
| デュラータ・セラピューティクス | 2014年5月承認・販売 |
| Omidria | 眼炎 |
| オメロス | 2014年6月承認・販売 |
| Elocate | 血友病A |
| バイオジェン・アイデック | 2014年6月承認・販売 |
| Contrace | 肥満症 |
| オレキシジェン・セラピューティクス | 2014年第2四半期 |
| Tedizolid | 急性細菌性皮膚・皮膚組織感染症 |
| キュービスト・ファーマシューティカルズ | 2014年第2四半期 |
| AFFREZA | 1/2型糖尿病成人の血糖コントロール |
| マンカンド | 2014年第3四半期以降 |
| Zerenex(クエン酸鉄) | 慢性腎疾患(CKD)患者の高リン血症 |
| ケリックス・バイオファーマシューティカルズ | 2014年第3四半期以降 |
| Plegridy | 多発性硬化症 |
| バイオジェン・アイデック | 2014年中旬 |
| Zalviso | 急性痛自己治療システム |
| アセルRXファーマシューティカルズ | 2014年第3四半期 |
| タバボロール | 水虫(爪真菌症) |
| アナコール・ファーマシューティカルズ | 2014年第3四半期 |
| Belinostat | T細胞リンパ腫 |
| スペクトラム・ファーマシューティカルズ | 2014年第3四半期 |
| イデラリシブ | 低悪性度非ホジキンリンパ腫 |
| ギリアド・サイエンシズ | 2014年第3四半期 |
| AEZS-130 | 成人成長ホルモン欠損症診断 |
| エテルナ・ゼンタリス | 2014年第4四半期 |
| LedipasvirとSofosbuvirの合剤 | 遺伝子1型慢性C型肝炎 |
| ギリアド・サイエンシズ | 2014年第4四半期 |
| ABT-450 | C型肝炎 |
| エナンタ・ファーマシューティカルズ | 2014年第4四半期 |
| ジアゼパム | てんかんに伴う急性で反復性の発作 |
| アコルダ・セラピューティクス | 2015年以降 |

出所: 各種資料を使用しピクテ投信投資顧問株式会社作成

記載されている個別の銘柄・企業については、あくまでも参考情報であり、その銘柄・企業の売買を推奨するものではありません。また、記載のデータは、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

〈次ページに続きます〉

バイオ医薬品関連企業の売上高は相対的に高い伸びが見込まれる

バイオ医薬品関連企業の売上高は、新興国の企業を上回って堅調に成長してきました。(図表5参照)

バイオ医薬品関連企業については、①有望な治療薬候補の良好な治験結果の発表、②大型の新薬の承認、③新薬販売開始後の業績寄与の拡大などを背景に、米国企業や日本企業よりも相対的に高い売上高の伸びが見込まれています。(図表6参照)

売上高の伸びに沿って株価も上昇

過去の実績では、バイオ医薬品関連企業の株価は、売上高の伸びとともに上昇してきたことがわかります。

(図表7参照)

バリュエーション: 上昇傾向にあり

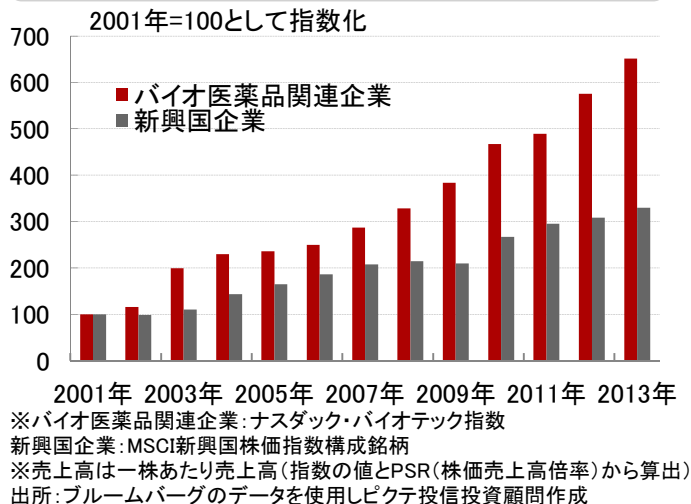
2011年以降、バイオ医薬品関連株式の株価が大きく上昇したことから、PSR(株価売上高倍率)で見たバリュエーション(投資価値評価)は、ここ数年で最も高い水準にあり、一部、割高となっている可能性もあります。

(図表8参照)

(※将来の市場環境の変動等により、上記の内容が変更される場合があります。)

図表5: 売上高の推移

(米ドルベース、期間: 2001年12月末~2013年12月末)



MSCI指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

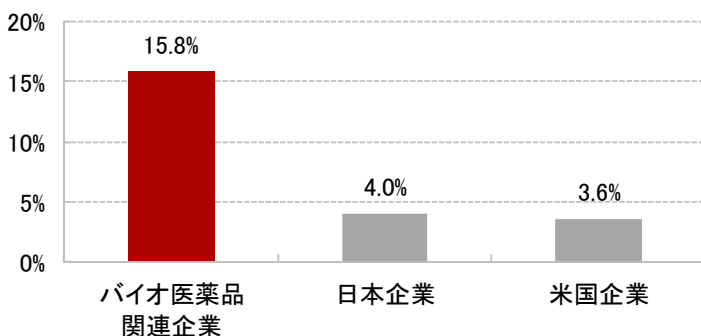
記載のデータは、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料をご利用にあたっての注意事項等

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資家保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。

図表6: 今後2年間の売上高伸び率予想

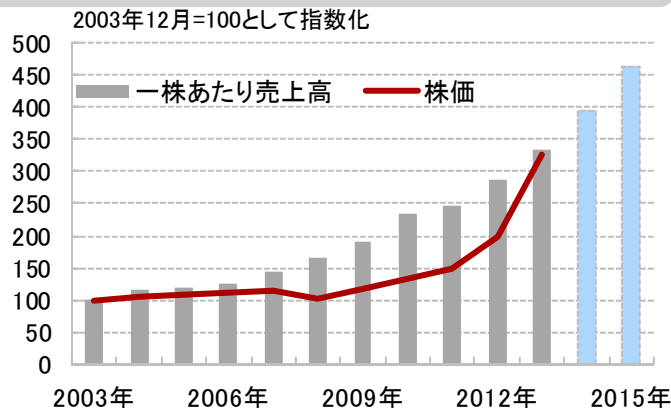
(年率、2014年6月10日時点、ブルームバーグ集計アナリスト予想平均)



※バイオ医薬品関連企業: ナスダック・バイオテック指数、米国企業: S&P500 種株価指数、日本企業: TOPIXの構成銘柄
出所: ブルームバーグのデータを使用しピクテ投信投資顧問作成

図表7: バイオ医薬品関連企業の売上高と株価の推移

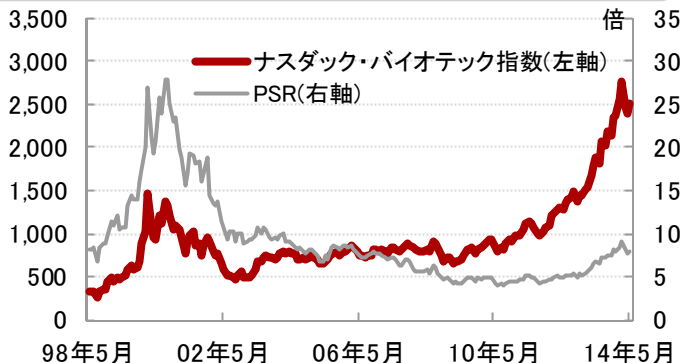
(期間: 2003年12月末~2013年12月末(実績)、2014~2015年(予想))



※バイオ医薬品関連企業: ナスダック・バイオテック指数
※一株あたり売上高は、指数の値とPSR(株価売上高倍率)から算出
※2014年、2015年の一株あたり売上高はブルームバーグ集計アナリスト予想平均(2014年3月26日時点)
出所: ブルームバーグのデータを使用しピクテ投信投資顧問作成

図表8: ナスダック・バイオテック指数とPSR

(米ドルベース、月次、期間: 1998年5月~2014年5月)



※PSR: 株価売上高倍率。2014年3月末時点のナスダック・バイオテック指数構成銘柄を基に算出 出所: トムソン・ロイター・データストリームのデータを使用しピクテ投信投資顧問株式会社作成